

現 場 説 明 書 追 加 事 項

工事名 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備舗装工事

工 種	種 別	説 明 事 項															
	技術者の適正配置	1. 請負代金額 4,000万円以上の工事については、主任技術者又は監理技術者は専任とする。ただし、当初契約時における「請負代金額」は「許容価格」と読み替えて適用する。															
	施工時間帯	2. 専任となる期間は、工事着手日から工事検査日までとし、修補等の指示を受けた場合は修補完了日までとする。 なお、この期間における技術者の変更は基本的に認めない。ただし、病気・退職等やむを得ない特別な事情がある場合は、この限りではない。この場合、変更となる事由を書面にて本市に申し出、承認を得ること。															
	建設副産物	1. 本工事の施工時間帯は昼間施工（8:00～17:00）及び夜間施工（21:00～6:00）で考えているが、関係機関との協議により、これにより難しい場合は監督員と協議すること。															
		本工事から発生する建設発生土については、原則、現場内で利用することとし、搬出する場合においては以下のとおり指定するものとするが、工事間利用調整の状況によっては、設計変更の対象とする。なお、現場において予定していた土質及び土量等に変更があった場合は、速やかに監督員と協議すること。															
		<table><tr><th>種 別</th><th>搬出先住所</th><th>搬出先名称</th><th>片道運搬距離</th><th>備 考</th></tr><tr><td>第1～2種建設発生土</td><td>岡山市北区北長瀬本町7番12</td><td>新力(株)</td><td>L=3.1km</td><td>仮置き場から(10t車)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr></table>	種 別	搬出先住所	搬出先名称	片道運搬距離	備 考	第1～2種建設発生土	岡山市北区北長瀬本町7番12	新力(株)	L=3.1km	仮置き場から(10t車)					
種 別	搬出先住所	搬出先名称	片道運搬距離	備 考													
第1～2種建設発生土	岡山市北区北長瀬本町7番12	新力(株)	L=3.1km	仮置き場から(10t車)													
		1. 受入条件については、下記のとおりとする。 1) 受入時間帯は、平日の8:00～17:00を予定している。 2) 土砂は、異物が混入していない建設発生土とする。															
		2. 建設発生土の処理については、施工計画書に基づき適正に処理すること。施工計画書に記している処理方法と異なる処理を行った場合は、契約違反となるので注意すること。施工計画書と異なる処理方法を行う場合は、事前に監督員と協議を行うこと。															

工 種	種 別	説 明 事 項																									
一般事項	建設副産物	<p>本工事から発生する特定建設資材廃棄物（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材）及び産業廃棄物は、下記の再資源化施設に搬入するものとし、その再資源化等費（処分費。なお、岡山県内で処理する場合には産業廃棄物処理税相当額、又は、産業廃棄物の処理に係る税の条例が施行されている他の県で処理する場合には各県の産業廃棄物の処理に係る税相当額を含む。）については、見積単価を採用している。なお、運搬に先だち受入条件等を確認し、監督員に報告するものとする。</p> <p>また、下記再資源化施設については積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、受注者の提示する施設と異なる場合においても設計変更の対象としない。但し、現場条件や数量の変更等、受注者の責によらない事項についてはこの限りではない。</p> <p>特定建設資材廃棄物（建設リサイクル法）</p> <table><tr><th>種 別</th><th>処理場所</th><th>処理施設名</th><th>片道運搬距離</th><th>備 考</th></tr><tr><td>コンクリート（無筋）</td><td>岡山市北区下足守地内</td><td>シー・シー・エス岡山(株)</td><td>L=14.3km</td><td>仮置場から（10t車）</td></tr><tr><td>コンクリート（鉄筋）</td><td>岡山市北区福谷地内</td><td>㈱ヨシハラ機工</td><td>L=10.2km</td><td>仮置場から（10t車）</td></tr><tr><td>アスファルト・コンクリート殻</td><td>岡山市北区金山寺地内</td><td>中野開発(株)</td><td>L=11.5km</td><td>現場から（10t車） 【夜間】</td></tr><tr><td>アスファルト切削殻</td><td>岡山市北区金山寺地内</td><td>中野開発(株)</td><td>L=11.5km</td><td>現場から（10t車） 【夜間】</td></tr></table> <p>1. 受入条件については、下記のとおりとする。 1) 受入時間帯は、平日の8:00～17:00を予定している。 2) ゴミ等を混入させないこと。 3) As殻については路盤材及び土砂の混入がない様努めるものとする。</p> <p>2. 本工事で夜間施工時に発生する建設副産物（アスファルト・コンクリート殻、アスファルト切削殻を除く）は、岡山市北区駅元町地内の岡山市所有地（片道運搬距離L=1.4km）に仮置し、昼間時に搬出するよう見込んでいる。</p> <p>3. 特定建設資材廃棄物の処理については、契約締結時に契約書別紙に記載した施設以外の施設に持ち込みを行う場合は、契約違反となるので注意すること。契約書別紙に記載した施設以外の施設に持ち込みを行う場合は、事前に監督員と協議を行うこと。</p>	種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考	コンクリート（無筋）	岡山市北区下足守地内	シー・シー・エス岡山(株)	L=14.3km	仮置場から（10t車）	コンクリート（鉄筋）	岡山市北区福谷地内	㈱ヨシハラ機工	L=10.2km	仮置場から（10t車）	アスファルト・コンクリート殻	岡山市北区金山寺地内	中野開発(株)	L=11.5km	現場から（10t車） 【夜間】	アスファルト切削殻	岡山市北区金山寺地内	中野開発(株)	L=11.5km	現場から（10t車） 【夜間】
種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考																							
コンクリート（無筋）	岡山市北区下足守地内	シー・シー・エス岡山(株)	L=14.3km	仮置場から（10t車）																							
コンクリート（鉄筋）	岡山市北区福谷地内	㈱ヨシハラ機工	L=10.2km	仮置場から（10t車）																							
アスファルト・コンクリート殻	岡山市北区金山寺地内	中野開発(株)	L=11.5km	現場から（10t車） 【夜間】																							
アスファルト切削殻	岡山市北区金山寺地内	中野開発(株)	L=11.5km	現場から（10t車） 【夜間】																							

工 種	種 別	説 明 事 項				
一般事項	建設副産物	産業廃棄物（建設廃棄物処理指針）				
		種 別	処理場所	処理施設名	片道運搬距離	備 考
		ブロック殻	岡山市北区福谷地内	㈱ヨシハラ機工	L=10.2km	仮置場から（10t車）
		廃プラスチック類	岡山市南区藤田地内	藤クリーン(株)	L=12.4km	仮置場から（2t車）
		E P S （発泡スチロール® ロック）	倉敷市水島川崎通地内	岡山県環境保全事業団水島処分場	L=33.8km	仮置場から（2t車）
		1. 受入条件については、下記のとおりとする。 1) 受入時間帯は、平日の8:00～17:00を予定している。 2) ゴミ等を混入させないこと。				

工 種	種 別	説 明 事 項
一般事項	変更後請負代金額の算出	<p>1. 請負代金額に変更があった場合の変更後請負代金額の算出は、次の式による。</p> <p>変更後請負代金額</p> $= (\text{変更後設計金額(税抜)} \times \frac{\text{当初請負代金額(税込)}}{\text{当初設計金額(税込)}}) \times (1 + \text{消費税率})$ <p>上記の算定式で、括弧内の計算の結果、10,000円未満の端数を生じたときは、これを切り捨てる。</p>
	隣接工事	<p>本工事は、別途発注工事、岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備電気工事、岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備工事（その1）、地下街管理者発注工事、路面電車事業者発注工事等と隣接するので、施工時の交通処理に当たっては、相互の連絡調整等を密にし円滑な交通処理に努めること。</p>
	交通規制	<p>本工事において、極力交通規制が伴わない工法又は、交通規制の期間が短縮される方法について検討し監督員に提出すること。</p>
	その他	<p>1. 工事の実施に当たっては、道路交通法第77条の規定に基づく所轄警察署長の許可を事前に受け一般交通に対する支障を最小限にとどめるものとする。</p> <p>2. 現道の交通処理については、万全を期するものとする。また、工事中一般交通等に支障を及ぼさないように安全確保に努めること。</p> <p>3. 公安委員会や地元との協議等に伴う要望事項については、監督員に報告すること。</p> <p>4. 工事期間中、沿道住民等の第三者により苦情、又は意見があった場合は丁寧に対応し直ちに監督員に報告するとともに適切な処置を講じなければならない。</p> <p>5. 工事中の一般交通開放区間の路面状況については、常時点検を行い特に注意を払い、万一凹凸等が生じた時は速やかに監督員に連絡し、対策を講じるものとする。</p> <p>6. 施工に際し、現道の路面を損傷あるいは汚損しないようにすること。尚、路面汚損防止対策が必要な場合は、監督員と協議すること。</p> <p>7. 現地の状況により既設構造物施設等の取壊し、復旧及び移設等の必要が生じた場合は、監督員と協議すること。</p> <p>8. 残土等の搬出に際し、公道等の路面汚濁防止に努め、舗装等の補修が必要となった場合は、監督員と協議すること。</p> <p>9. 本工事箇所は、とくに生活環境を保全する必要がある地域であるので施工に当たっては低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定されている建設機械を使用するものとする。</p> <p>10. 本工事区域には地下街があるため、騒音・振動等に十分配慮し施工すること。また、施工中の雨水等の処理についても十分配慮し施工すること。</p> <p>11. 工事箇所に緊急車両進入時は速やかに搬入を受け入れ、作業を止めて対応すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
一般事項	その他	<p>12. 本工事箇所は、バスターミナル出入口部であるのでバス運行に支障がないよう施工計画を立案すること。</p> <p>13. 岡山駅利用者及びバス、店舗等の営業に支障のないよう、看板の設置や誘導及び通行の確保などに十分配慮すること。また、岡山駅東口駅前広場や沿線道路でイベント等の活動が行われる場合は、関係機関と調整を十分に行い、協力すること。</p> <p>14. 工事範囲には埋設管があるため、事前に確認をしてから作業をすること。また、不明な埋設管を発見した場合は、監督員に報告し、関係機関と調整のうえ対処すること。</p> <p>15. 駅舎付近で重機を使用する作業を行う場合は、予めＪＲ西日本岡山新幹線保線区と協議を行うこと。</p> <p>16. 本工事区域及び周辺では、市発注の別工事である岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備電気工事、岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備工事（その１）、地下街管理者発注工事、路面電車事業者発注工事等が同時期に予定されているため、十分協議調整して施工すること。</p> <p>17. 路面電車事業者による軌道敷き工事の交差点部の作業開始予定である令和７年１２月までに、「⑨交差点内嵩上げ舗装」の工事施工を完了させ、監督員の確認を受けること。</p> <p>18. 施工ステップを検討する中で、中間技術検査や随時検査等が必要となる場合は、速やかに監督員と協議をすること。</p> <p>19. 本工事は、アスベストの事前調査が必要な工事である。 元請負業者は、事前調査及び撤去工事を以下の通り実施すること。 ・事前調査及び撤去については、大気汚染防止法及び石綿障害予防規則により実施すること。 ・「建築物」の調査にあたっては、有資格者による調査を実施すること。 ・令和２年１１月３０日付け環境省通知「大気汚染防止法の一部を改正する法律の施行等について」にて示されている「建築物」及び「工作物」（報告の対象外工作物あり）の事前調査結果については、石綿含有建材の有無に関わらず、発注者へ書面で報告及び都道府県知事等へgBizID（法人・個人事業主向け認証システム）にて報告を行うこと。 ・工事着手前までに事前調査結果の掲示（様式Ａ３以上看板を設置）すること。 ・除去等作業の結果は、発注者へ書面で報告しなければならない。 ・構造物撤去時にアスベスト含有が疑われる構造物が発生した場合、監督員と協議すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項								
施工一般	一般事項	1. 施工中の民地への通路は確保するものとし、形態等については別途監督職員と協議すること。								
作業土工	床掘り	1. 床掘り土質は、砂質土で見込んでいる。								
	埋戻し	1. 本工事の埋戻し土は、下記のとおり見込んでいる。 <table border="1"><thead><tr><th>項 目</th><th>備 考</th></tr></thead><tbody><tr><td>砂</td><td>購入土</td></tr><tr><td>真砂土</td><td>購入土</td></tr><tr><td>流用土</td><td>発生土</td></tr></tbody></table>	項 目	備 考	砂	購入土	真砂土	購入土	流用土	発生土
	項 目	備 考								
	砂	購入土								
真砂土	購入土									
流用土	発生土									
掘削工	1. 掘削土質は、砂質土で見込んでいる。 2. 流用土の仮置については、見込んでいないが、現地の状況により必要が生じた場合は、監督員と協議すること。									
	盛土工	1. 真砂土は、岡山市北区下足守地内の(株)フジモト（運搬距離L=14.9km）からの運搬を見込んでいる。 なお、購入場所等との協議により他の場所から運搬する必要が生じた場合は、監督員と協議すること。								

工 種	種 別	説 明 事 項
仮設工	一般事項	<p>1 別図「参考図（積算用参考図）」は、任意仮設として積算内容を示したものである。よって、工事目的物を完成させるための一切の手段については、受注者の責任において定めるものとする。</p> <p>2 仮設の施工に当たっては関係法令要綱、指針及び現地条件を勘案のうえ、一般交通・沿道物件並びに工事の安全を十分考慮して施工しなければならない。</p>
	交通誘導警備員等	<p>1 交通誘導警備員を下記の通り見込んでいる。 交通誘導警備員B（夜間交替要員無し） 1,144人 なお、配置場所等については、監督員と協議すること。</p> <p>2 関係機関との協議により、列車見張員・工事管理者・重機の誘導警備員の有資格者の配置が必要となった場合は、配置箇所等を協議し対応すること。</p>
	仮復旧工	<p>1 現地の状況により上記以外の仮設の必要が生じる場合は、監督員と協議すること。残土処理（碎石）については自工区内での転用を図ること。また、工事終了後は他工区での有効利用を考えている。仮舗装の断面構成は別紙参考図のとおり見込んでいる。</p>
	道路切廻し	<p>1 本工事では切廻しは見込んでいないが現地の状況等により必要と認められた場合は、監督員と協議すること。</p>
	水替工	<p>1 水替工は見込んでいないが、現地の状況により必要が生じた場合は、監督員と協議すること。</p>
	その他	<p>現地の状況により他の仮設の必要が生じた場合は、監督員と協議すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
舗装工	路面切削工	<ol style="list-style-type: none"> 1. 日々の施工が完了した後、一般車両に交通開放する場合は、縦断方向へのすり付けは、岡山県土木部制定「土木工事設計マニュアル」により、かつ車道段差が無いように施工量を考慮するとともに路肩処理等も完了すること。 2. 施工途中で降雨等のためやむを得ず横断方向に段差が生ずる場合は次の何れかによること。 <ol style="list-style-type: none"> 1) アスファルト合材により段差のすり付けを行うこと。勾配は4%以下とする。 2) 岡山市土木工事共通仕様書の保安施設設置基準に基づきバリケード、赤色灯等を設置して交通開放を行う。 3. 路面切削量の確認については、「測量による方法」による。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 切削前 <p>一車線当り5点を測量すること。測定方法は、路肩及び車線境界あるいは中央線は、水準測量を行うこととするが、その他の測定点は、水系等を用いた高低差によることができる。（横断プロフィルメーターを使用してもよい。）</p> 2) 切削後 <p>一車線当り3点を測量すること。測定方法は、切削前に測定した路肩等の高さの既知点からの高低差によることができる。</p> 4. 横断測量の間隔 <p>20m毎に1断面の割合で測量を行う。20m未満の場合は監督員と協議すること。</p>

工 種	種 別	説 明 事 項
道路附属施設工	道路植栽工	<ol style="list-style-type: none"> 1. 道路植栽の施工に当たっては、監督員と協議すること。 2. 施肥を施工する前には、土壌調査（PH）を行い、その資料をもって監督員の承諾を得ること。 3. 農薬（殺虫剤・殺菌剤）の使用にあたっては、農薬取締法、農薬関連法規はもとより、メーカー等で定める使用上の安全基準を遵守するものとする。 4. 出来形管理については、街路樹管理台帳に準じてよい。但し、現場と管理台帳に相違が生じた場合は、速やかに監督員の承諾を受け修正するものとする。 5. 新植等がある場合については、別紙様式により提出すること。 6. 作業に当たっては、「道路植樹管理の手引き」（昭和59年1月中国地方建設局発行）及び「街路樹に関する基本方針」（昭和60年2月街路樹協会発行）を参考として施工すること。

工 種	種 別	説 明 事 項
共通仮設費	技術管理費	1. 受注者は当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査、諸経費動向調査、施工合理化調査及び施工形態動向調査の対象工事となった場合には、調査等の必要な協力をする。工期経過後においても同様とする。
	支障物件	1. 本工事区間内において不明管が出てきた場合は各占用物件管理者の立会を求めて要不要等の確認を行うとともに、施工に際しては、保安に必要な措置を講じて施工するものとする。なお、保安上必要な措置については、別途監督員と協議（指示）すること。
	占用物件	本工事区間に埋設されている占用物件の占有者と十分調整を行いながら施工すること。なお、試掘が必要な場合は、監督員と協議すること。